



11月の園だより

平成30年11月
柿生保育園

朝晩の冷え込みとさわやかな青空。やっと秋らしい日々になってきました。日中とても過ごしやすくなったのと、運動会という大きな行事を経験したことで、子ども達は、からだを動かす楽しさを満喫しています。特に幼児クラスの子どもたちはいろいろな種類の鬼ごっこ、リレーなど自分の力を試すような遊びに発展しています。子ども達同士が遊びの中で刺激を受けながら成長する姿は集団生活ならではの姿です。



先月、3、4、5歳児クラスは芋ほりを体験しました。慣れている砂場の砂の感触とはちよっぴり違う土の感触。掘りたてのお芋の“重さ”や“におい”などいろいろなことを感じる事ができたようです。長い月日をかけて生長してきたお米や、サツマイモをいよいよ口にするときの子ども達の反応が楽しみです。



11月。芋煮会、焼き芋、発表会に向けて・・・など、子どもたちが楽しみにしている取り組みが行われます。一年のうち、この第3期は、1、2期を土台として子ども達の成長が著しい期になります。周囲の大人が、日常生活子ども達の感じる（た）ことに共感してあげることで安心し、心身ともに健やかに成長すると言われています。夕方暗くなるのも早くなり、なんとなく気ぜわしい日々ですが、一緒に子育てを楽しんでいきましょう。



11月の行事予定

2	金	川崎市保育会保育大会
6	火	3歳児保育参観・個人面談開始 芋煮会
10	土	かっきーまつり準備日
11	日	かっきーまつり
14	水	焼き芋
15	木	防災の日・誕生会・職員会議
16	金	1歳児保育参観・個人面談開始
20	火	幼児会議・
21	水	乳児会議
27	火	王禅寺中央中学校 2年生職業体験
29	木	第37回川崎市保育研究大会

11月14日はやきいもです。

この日園庭で焼き芋をします。

✕ おやつ時間に食べられるように、午睡の時間に火をおこします。

子ども達はお芋を洗う、濡れた新聞紙、アルミホイルでお芋を

✕ 包む作業をします。毎年、父母会からの助成金を活用させていただき

ありがとうございます
ございます



もうすぐ かっきーまつり

役員さんをはじめとして「かっきーまつり」にむけての準備がすすめられていること
と思います。ここ数年は温暖化の影響なのか天候に左右されることが多く、保護者の
皆様にもご迷惑をおかけしております。

かっきーまつりは雨天でも室内開催となりますが、かなりの混雑が予想されます。
園でも安全に楽しくできるように配慮していきますが、皆様のご協力をよろしく願ひ
いたします。

また、地域の方の出入りも多くあります。夕涼み会・運動会同様IDカードをお持ち
でない方は受付にて手続き後シールを貼っていただくようになります。

12月8日(土) 保育発表会

2歳児から5歳児まで年齢やクラスカラーに
あった内容で発表会がおこなわれます。

0.1歳児の通常保育のお子さん以外は
発表会後は降園となります。

この日、ホール会場がたいへん混み合います。
ご兄弟の小中高校生はホールに入場することは
できませんのでご了承ねがいます。

また各クラスより発表会に向けて準備する
ものや当日の保護者の方へのお願ひなどお知らせが
できますのでよくお読みいただき確認をお忘れなく。

こどものつぶやき

(お米のもみ殻取りの作業中)

♪♪「つらいときはなんでも～♪♪」

↑運動会のなわとびをやっている
ときのBGM。

一粒ひとつぶのお米のために苦戦中
つつい口ずさんでいました。

5歳児男児

10/24. 25. 26の三日間、全国保育研究大会が川崎市で開催されました

北海道から沖縄まで全国の保育士さんをはじめ保育関係者が約1500人ほどが一堂に集まり、たくさんの研究実践発表や
いろいろな講師の方のお話を聞く機会がありました。また、保育に功績のあった方の表彰もありました

川崎で開催されるのは十数年ぶり。(参加者交流の食事会では川崎名物ということで、禅寺丸柿を使ったデザートも出て
全国にその名が・・・)

最終日の記念講演はテレビでもおなじみの澤口俊之先生(人間性脳科学研究所所長・武蔵野学院大学教授)の

お話。【子どもの脳をいかに育むか】の演題で脳科学の立場から子どもの成長発達についてたいへん有意義な内容を
伺いました。

乳幼児期は「遊びの中で様々な力を身につけることがその後の学習意識を育む」「外遊びの重要性(社会的スキル・
創造性・レジリエンスを育む)」

レジリエンスとは【心の強さや折れない心、心の修復力や弾力性、
耐久力のこと】→近年の若年層に欠けている

「乳児期における電子ゲームやスマートフォン使用が脳に与える悪影響」・・・など。脳科学に基づいたお話がありました。

子ども達が健やかに成長し、社会で自立していかれるまで周囲の大人は責任をもって関わっていかねばなりません。
この研究大会が保育に関わる人の資質向上につながっていくことを願ひ、さらに柿生保育園の保育にも活かしていきたいと
思います。